

# 小児がん患者の背中押す

戸田屋正道(山形)と支援団体 水ようかん開発

菓子店の戸田屋正道(山形市、戸田健志社長)は18日、小児がん患者支援を担う「山形メークレモネードプロジェクト」(天童市、平田寧々プロジェクトリーダー)と共同開発したレモン味の水ようかん「檸檬香」を発売した。12月末まで山形市小姓町の店頭で販売し、売り上げの一部を患者支援のため山形大医学部に寄付する。

同プロジェクトは小学3年生のころに小児がんを患った平田さん(20)と県立保健医療大2年IIが中心となり、2023年に発足。レモネードを販売して小児がん患者支援に充てる米国発祥の運動「レモネードスター」を展開している。活動への理解を広めるため、家族らと一緒に味わえるおり、菓子開発を同社に打診し、戸田社長が快諾した。同社は日持ちする商品と

## 売り上げ一部 山形大医学部へ寄付

して水ようかんを選び、白あんの良い甘さとレモンのさっぱりとした風味が引き立つ、なめらかな口溶けに仕上げた。国産の砂糖を使用するなど「素材を厳選した」と戸田社長。ラベルは同社のマスコットキャラクター「おかめちゃん」と、レモンをかたどった同プロジェクトのロゴを組み合わせてデザインした。店舗で同日、セレモニーが行われ、戸田社長と平田



新商品の水ようかん「檸檬香」を手にする戸田健志社長(右)と平田寧々プロジェクトリーダー(左) 山形市・戸田屋正道

さんが協定書を交わし、戸田社長は「おいしい水ようかんを食べてもらい、患者支援につなげたい」と述べた。看護師を志す平田さんは「小児がん患者には明るく前向きに生きてほしい」と強調し、「誰かと一緒に味わい、話題のきっかけにして活動に思いをほせてくれるとうれしい」と話した。檸檬香は1個約60円入りで300円。店頭のほか、小児がん啓発月間(9月)に合わせ、来月6日午前11時から、山形市七日町二丁目ほっとなる広場公園で開催される「なのかまちマルシェ」でも販売する。(上村耕平)